

隅谷三喜男 すみや さんきよお 經濟學者。大正五年八月二十六日東京生れ、平成十五年二月二十一日歿（一九六〇・三）。昭和十六年東京帝國大學經濟學部卒。滿洲の昭和製鋼所入社。二十年東大教授、のち信州大學教授、東京女子大學・惠泉女子大學各學長歴任。労働經濟學の分野で業績を挙げた。日本學士院會員。

著書『學生生活』（合著・大河内一男編、昭和二十七年五月二十五日新評論社）、『現代人の生態―ある社會的考察』（合著・思想の科學研究會編、昭和二十八年十一月二十日大日本雄辯會講談社）、『日本社會とキリスト教』（昭和二十九年六月二十五日東京大學出版會「東大ニ・六版」）、『近代日本とキリスト教・明治篇』（合著・久山康編、昭和二十一年四月十日基督教徒兄弟団）、『明治前期の労働問題』（合著・明治史料研究連絡會編、昭和二十五年二月十五日御茶の水書房「明治史研究叢書・第二二期補卷」）、『ことごとびさかかびごとく―人物日本社會運動史』（昭和二十五年十一月一日日本基督教団出版部）、『戦後日本精神史』（合著・久山康編、昭和二十六年七月十五日基督教徒兄弟団、創文社究亮）、『日本石炭産業分析』（昭和四十二年二月二十六日岩波書店）、『韓國の經濟』（昭和五十一年三月二十一日岩波書店「岩波新書」）、『大学ごぼいごぼい』（昭和五十六年十一月二十日岩波書店「岩波ジュニア新書」）、『激動の時代さ』



隅谷三喜男
『激動の時代さ』
生活社―社会

激動の時代を生きて
―社会科学者の回想―

隅谷三喜男

「時の流れに
逆らって生きる」

定価（本体200円＋税）

岩波書店

科学者の回顧 (一九四一年四月一日) 科学者 (一九四一年四月一日) 科学者 (一九四一年四月一日) 等。